

富士市教育委員会会議		7 月	定 例 会 臨時会	会 議 録 (令和 5 年)
開催日 令和 5 年 7 月 2 1 日 火曜日 開 会 1 3 時 0 0 分 閉 会 1 4 時 4 7 分			会議場 中央図書館 2 階 視聴覚室	
出席委員の氏名				
教 育 長	森 田 嘉 幸	委 員	松 田 靖 子	
教育長職務代理者	和久田 恵 子	委 員	塩 谷 知 一	
委 員	篠 原 均			
出席職員等の氏名				
教育次長	江 村 輝 彦	教育研修・特別支援教育センター所長	檜 木 小重美	
教育総務課長	味 岡 俊 雄	青少年相談センター所長	川 口 壽 彦	
学校教育課長	齋 藤 文 徳	博物館長	植 松 良 夫	
学務課長	村 嶋 博	教育総務課調整主幹	小長谷 聡	
社会教育課長	吉 田 和 洋	教育総務課参事補	吉 村 直 也	
文化財課	久保田 伸 彦	教育総務課指導主事	瀧 南	
中央図書館長	大 川 英 子	教育総務課指導主事	山 田 英 雄	
富士市立高校事務長	榎 俊 英			
富士市立高校副校長	小 塩 宜 浩		傍聴人 6 人	
開会				
会議録の承認				
教育次長の報告要旨				
教育次長	○市議会 6 月定例会について ・市議会 6 月定例会が 6 月 13 日から同月 28 日の間で開催された。教育委員会に関連した一般質問は、9 人の議員から 10 件の一般質問があった。 ・教育委員会に関連した議会質問の答弁要旨は、本日配布させていただいた。			
議題（動議）及び議事の概要				
議第 28 号	○富士市立富士見台小学校学校運営協議会委員の補欠委員の委嘱について			
(説明)	・学校教育課長			
議第 29 号	○富士市立吉原北中学校学校評議員の追加委嘱について			
(説明)	・学校教育課長			
(質問・意見等)	→学校運営協議会の活動については、報告を受けているのか。			
(回答)	→報告は受けていない。			
(質問・意見等)	→報告をもらい、他校にも役に立つ内容等あれば情報提供するなどしたらどうか。			

(回答)	→各校の経営方針等についての意見を審議しているが、各校で出た情報等について、こちらで把握し各校の運営に活かせるように努める。
(議決)	→承認
議第 30 号	○富士市立小学校教科用図書の採択について
(説明)	・学校教育課長（採択案に至るまでの経緯を説明）
(質問・意見等)	→特になし
(説明)	・学校教育課長（国語及び書写の教科書の採択理由を説明）
(質問・意見等)	→以前、各教科書を確認させていただき、私もこの教科書に賛成である。その理由として他教科との関連が図れるというところとユニバーサルデザインが他のものに比べて非常に配慮されているということと、本の紹介も多くあり、非常によいと感じた。説明いただいた内容でよいと感じている。
(質問・意見等)	→どの出版社の教科書も小学生に生きていく上での基本は日本語であり、国語であるというところや、言葉の力や言葉について学んでいこうという出発点は共通しており、甲乙つけがたかった。今回推薦していただいた教科書は、この学年で何を学ぶかというロードマップが分かりやすかった。また国語の学びを通じて、読書や本についての関心を促すなど、その後に何を見せなければならないかという視点がはっきり出ていると感じた。
(質問・意見等)	→推薦いただいた教科書が、一番物語が多いと思った。物語を朗読することが大事だと思う。
(質問・意見等)	→どの出版社もいろいろ工夫されていると感じた。文字を書くということがアウトプットの最初のところと感じながら見た中で、この教科書の方が、見やすく、導入もよかった。書くことが嫌にならないというイメージがとても大事ではないかなと感じている。この教科書でよいと思う。
(質問・意見等)	→はらいや書き順の工夫など、小学生がどうしたら入りやすいのかという工夫が随所にみられ、私も判断に迷った。調査員の先生方の意見に、扱っている言葉がすごく前向きな言葉であり、書写を通じて気持ちや心を育てる言葉選び、素材選びであるというところに、非常に共感した。その点でこの教科書の推薦については私も共感できる。
(説明)	・学校教育課長（社会科の教科書及び地図の採択理由を説明）
(質問・意見等)	→現代の課題を取り入れており、課題解決に向けてという視点から見ると非常に優れていると感じた。また静岡県に関わるが多く掲

(質問・意見等)	載されている。私たちは富士市に住んでいるので、静岡県に関わることは非常に興味を引くので、子どもたちもまず静岡県から始まって、全国に広げていけると感じた。さらに、使う、調べる、まとめるというところが、紙面の両脇にあり、分かりやすく整理整頓されている点でこの教科書がいいと考えている。 →社会の学習は導入部分で、なぜ社会を学ぶのか、なぜ歴史を学ぶのかを、いかに子どもたちにうまく伝えるかがポイントだと思っている。各社、アニメのキャラクターを案内役に使っていたり、付けたい力が何なのか、新たな疑問が生まれどのように学ぶのかというステップが示されていたりと、工夫が見られ勉強になった。今回、提案いただいた教科書の導入は地元の素材が使われており、先生も教えやすく、子どもたちも興味をもちやすく、見にも行けるため、その地域性というところと主体的に学べるというこの富士市の教育目標を考えたときには、今回、推薦いただいた教科書というのは優れていると感じた。
(質問・意見等)	→地図は客観的なものであり、どこでどのように出し方、見せ方を工夫されるのかというところを興味深く見させていただいた。今回、地図の世界によろこそという入りから、今紹介された10ページの道案内など、教える側にも教えやすいのかなと思った。また、浜松の例があり、興味をもちやすいという意味では非常によいと感じた。
(質問・意見等)	→どっちがいいかということは難しかった。この教科書を見たとき、色の配色や描き方が見やすいなと思った。子どもたちにとっても見やすさが一番のカギになると思ったので、この教科書が見やすくてよいと感じた。
(説明)	・学校教育課長（算数の教科書の採択理由を説明）
(質問・意見等)	→算数でも、多様な考えを聞いて授業を進めるという構成が、自分の考えが言えない子でも、そういう授業の展開だということが認識されることにより、自分の考えを言うことにより第一歩を踏み出せるような構成ではないかと感じたのでこの教科書がいいと思った。
(質問・意見等)	→算数は論理の流れがあるため、一度嫌いになると、その後もずっと嫌いになってしまうことがある。この教科書は目次で、前年度の学びが今年の学びのどこにつながっているか、さらに今年の学びが翌年や中学校のどこにつながるのかが分かり、丁寧だと思った。考え方モンスターという算数で見つけたい考え方モンスターが、算数を考えるに当たり、非常に入りやすく、しかも意味を持たせていて、それがとても効果的で、随所に効いているなど感じた。こういう教科書であれば子どもたちも学びやすく、興味を持ちやすいと思い、

	今の子どもたちに使いやすい教科書だと思った。他の教科書も、表紙が数学的思考に富んでおり、算数はこのように楽しいものとワクワクするような表紙のものがあったり、算数で使う言葉が整理されていて、同じ日本語でもこのように使うということが示された教科書があったり、個人的に興味をもった教科書がいくつもあったが、総合的に考え、子どもたちが入りやすい、学びやすいという意味では推薦していただいた教科書がよいと考えました。
(質問・意見等)	→算数については、どの教科書も優劣つけがたかった。練習問題が全ての教科書において少ないなと思った。計算ドリル等、補完するものはあるのか。
(回答)	→算数の計算ドリルについては、本市ではAIドリルを取り入れており、反復した学習ができ、十分対応できていると思う。
(質問・意見等)	→繰り返し練習することが一番大事だと思う。そのように補完があればいいと思う。
(説明)	・学校教育課長（理科の教科書の採択理由を説明）
(質問・意見等)	→理科も各社、子どもたちに理科の世界に興味を持ってもらい、理科的な考えに馴染んでもらう工夫があつた。最初に理科で未来を予想しようとワクワクする出だしから始まり、理科はそういうワクワクした楽しいものと導入が工夫されていた教科書がいくつかあつた。今回推薦していただいた教科書の最初の入りが、表紙の裏に「えっ？」と疑問から始まり、この問いかけに対して疑問をもって答え、さらに新たな疑問に対してさらに答えてというサイクルがあり、自然と理科的な発想、論理的な発想、理論的な発想が学べる構成になっていると感じた。また現場の研究員の先生の目線では、デジタルコンテンツも豊富であり、実験の映像などが多く含まれているとのことであった。理科は、自分で見て、実際に検証してというところが大事かと思うが、学校でできないようなこともデジタルの中で学べる点でバランスがいいと思い、推薦の教科書に賛成である。
(質問・意見等)	→ICTを利用して効果的に活用できる補充問題等があると聞いており、これからの時代においては必要な、不可欠なことと感じている。
(説明)	・学校教育課長（生活科の教科書の採択理由を説明）
(質問・意見等)	→生活科の教科書は、どの教科書にも大人として子どもたちに学んでほしいということが工夫して含まれていたので判断がとても難しかった。推薦された教科書は、自分の興味によって、「はい」と「いいえ」を選び進めていき、自分の選択に従ってどのようなことをやってみようとか、別の人はどういうことをやってみようというように、

	自分はこれを学んでみようとして富士市が求める主体的な学びがゲーム感覚で身に付き、いい形で子どもたちのスイッチを押すことになると思い、特筆すべきところだと感じた。どの教科書も説明があったように、園少連携をすごく意識されている。一方で入学前の経験や家庭ごとの経験に違いがあり、どこまで扱っていいのか、各社、工夫されており、教える側の先生方の気遣いや苦勞を感じられる。全体としてバランスが取れており、身に付けさせたい力が、左上に示されているなど、先生と子どもたちが教科書をうまく使い、授業を対話的に進めていくと思いこの教科書を推させていただきます。
(質問・意見等)	→生活の中から見つけ出すということに加え、子ども自身がいつも「はてな」、「おや」と思い、感じる力、感性が育つことが大事だと思う。ただ、子どもたちの感じ方や発見は違うので、そういうところを写真や表題を連携させて子どもたちが同じ方向性に向けるような構成であり、すごく見やすかった。
(質問・意見等)	→生活ということ自体が何を目的にしているか私ほうまく理解できなかった。生活の中で一番大事なことは他人に気を配ることかなと私は考えている。他人に気を配る習慣について、私が見た範囲内では全ての教科書に記述されておらず、残念だった。推薦された教科書については今の説明で、よいと考えた。
(説明)	・学校教育課長（音楽の教科書の採択理由を説明）
(質問・意見等)	→音楽に関しても、研究員の先生方は細かく見られていて、研究されているところが見て取れる。専門の先生方がここまで分析した結果であり共感できる。そもそも音楽が嫌いな人は世の中にあまり多くないと思うが、なぜ学校で学ぶのか、教科として学ぶのかというところで、苦手意識をもつ子どもや、運動と音楽を極端に分けてしまう発想の子どもいるのかも知れないが、この教科書を見るとなぜ音楽を学ぶかの学習マップが子ども目線で作られていて、子どもと先生と一緒に音楽を学んでいくということが表れていて、教科書として入りやすいと思った。また、先生方の調査研究では音楽づくりの教材コンテンツが非常に充実しており、音楽を自分で作るという、主体的な音楽の学びもあるということで、そのような意味でもこの教科書がよいと思った。
(質問・意見等)	→私は、音楽はとても大事な学科だと思っている。近年、童謡等が減少している時代があり危惧していたが、今回の教科書には童謡唱歌がふんだんに盛り込まれていた。また、歌うことと楽器を演奏すること、音楽を作ること、音楽を鑑賞することの4つの素養に関してうまく分散され、共通した構成であるところが非常に分かりやすく

	ていいと思い、この教科書を選んだ。特に富士山がしっかりと掲載されていて、地元にあった楽曲を学ぶことが大事だと感じている。この教科書がいいと考えた。
(説明)	・学校教育課長（図画工作の教科書の採択理由を説明）
(質問・意見等)	→図画工作の教科書についても選ぶのは難しかった。調査研究にあったが、日常生活の中の美術とは素晴らしい絵だけではなく、日常生活の中にある形とか造形とかがきれいだと思うところから図工の世界に入っていくという構成が徹底された、丁寧な作りになっている。また、表現は様々であり、こうでなければならないとか、絵が上手いとか下手ということではなくて、表現は自由にやっていいと、そういうことを後押ししてくれるような仕掛けや、記載の仕方があり共感できた。研究成果として推薦いただいた教科書ではその2点が分かりやすく優れていると思った。
(質問・意見等)	→図画工作の題材の数が多いのはいいが、題材の一つ一つをやる時間が減っているのではないかと危惧している。その中で厳選して取り組むためには、まとまった単元がやりやすいと思う。段ボールで何かを作ろうという単元が各学年で出ているし、理科の実験につながるような工作物とか、色の使い方とかというところがあるので、他の教科とつながるところがある。その単元がそれぞれ学年によって、図画工作の素養が一つずつ上がっているようなところがあり、優れていると思った。
(質問・意見等)	→教科書の中で教えたことや習得してほしいことがあると思うが、その中に日常のものから表現したり、感性を育てたり、またみんなで作品についてどう語るなど、一人で感性が磨かれればいいのではなくて、みんなで育てていこうという流れが教科書の中に現れているのでいいと思う。
(説明)	・学校教育課長（家庭の教科書の採択理由を説明）
(質問・意見等)	→なぜ家庭科を学ぶのか、という意見が小学生の中にはあるかも知れないが、今回推薦いただいた教科書は、最初に「学んで変わるよ、私たち」とあり、家庭科を学ぶことで自分たちも生活もより便利な方に変わるというロードマップが表紙裏にある。また、ロードマップは誕生から中学生に向けての流れになっており、これを見ると社会や理科などの他の教科との関係も示されていて、家庭科を学ぶ中で他の教科で学んだことを再確認できる。さらに、生きていく上で必要な基本的な力が集約されていると思う。
(質問・意見等)	→先ほどの生活科と同様、選ぶのに悩んだ。私は今回の教科書に賛成

	である。なぜなら全教科とのつながりが示されており、家庭における様々なことがいろいろな教科とつながっていること、生きていくために必要なことは他の教科にも全部つながっていることがよく分かるからだ。写真、図表、イラスト等で適切に記載されており、流れとゴールも分かるし、ゴールが私たちの生活であって、その生活をするために様々な教科が必要で、こういう生活ができるということが結び付けられるというところが非常に良かった。
(説明) (質問・意見等)	・学校教育課長（保健の教科書の採択理由を説明） →今、情報をすぐに手に入れられる時代であるが、けがの手当てや病気のこと、日常かかる病気名、生活習慣病などについて写真やその理由などが具体的に示されているところが分かりやすく、関心をもった。
(質問・意見等)	→何のために保健を学ぶのか、日常生活のどこに保健があるのかが、よく分かる教科書である。生活の中で保健を探すという導入で、分かりやすく位置づけられた教科書もあったが、今回推薦していただいた教科書は、振り返ってみると誰でも経験があることを題材にして、それについて調べて話し合って学びを生かしていこうという学習の進め方のサイクルを示しており、子どもたちもイメージしやすい、分かりやすい、学びやすいというところが、非常によいと思った。また研究員の先生のコメントに、QRコードを使って、そこから資料を見ることができるといった、IT機器を使い学びを深める仕掛けも随所にあり、今の学び方に合う教科書と感じた。
(説明) (質問・意見等)	・学校教育課長（英語の教科書の採択理由を説明） →どの出版社の教科書も中学生の最初の教科書かと思うような充実した内容であった。語彙が豊富で、読むこと、書くことに力を入れている教科書やCan-Doリストなど子どもたちに英語を嫌いにならずに整理できる工夫がある教科書など、出版社ごとにいろいろな特徴があった。富士市だけではないが、小学校では同じクラスの中にいろいろなルーツをもつ子が日常的に周りにおり、子どもたちは分からない中でもコミュニケーションを取っている。そのような中で、推薦された教科書は、聞くことと話すことに焦点を当て、そこから英語に関心を持たせるという発想がすごく分かりやすい。また、研究員の資料には、あまり知られていない国も登場するとある。大人でも分からない国の登場人物が出てくるなど、誰でも知っている近い国ではなくて、世界にはいろいろな人がいて、いろいろな背景があるということに触れられる仕掛けも非常に関心をもって見させてい

(質問・意見等)	ただいた。この教科書はこの2点が富士の英語教育と合っていると思った。 →この教科書はコミュニケーションをしていくためにという観点から見ると非常に分かりやすい。コミュニケーションを深めていくために、最初にきっかけを作り、そこから深めていくという流れが非常に分かりやすかった。ホップ、ステップ、ジャンプみたいな形式だが、日本としてグローバル化に向けてはコミュニケーションが必要だと思っているので、現代の小学生は関わりやすくなっているのではないかと思う。先ほどもあったが、身近に英語を使う子どもたちが増えてきている。その点も活用し、教科書を活用してその子と会話をする様子が浮かぶ教科書だったので、いいと思う。
(説明) (質問・意見等)	・学校教育課長（特別の教科 道徳の教科書の採択理由を説明） →どういう観点でどのように採択すべきか難しい教科の一つというか、最たるものかもしれない。どの教科書も命の大切さやいじめがなぜいけないかなどの工夫があり、子どもたちの血肉なるようにと教材選びが工夫されている。例えば、二人の登場人物が一つ一つの教材を通じてどのように成長していくかが描かれていた教科書があり、学びやすいなと思った。今回推薦していただいた教科書の特徴として、考えようというところの視点が、この教材の中で考えることと、必ず自分事として考えることの2つの項目を必ず各単元設定しているところである。まずこの教材を読んで何を考えるか、次に自分がその立場ならどう考えるか、この2つの視点で常に考えて整理するようになっており、視点が明確にされているため、先生と子どもたちと議論しやすいかと思った。そうした意味で何を学ぶかという視点が明確であるということと、先ほど説明にもあった子どもの権利条約にも触れられていることから、この教材は富士市に合うと思ったので、この選定に賛成である。
(質問・意見等)	→道徳は大事なことである。伝えるに当たりいろいろな言葉が出てくるが、この教科書はいじめや自分についてなど、より具体的な言葉が使われている。そのためどのように考えるか、どのように自分事にするかという流れが具体的で子どもにとって分かりやすいと感じた。
(議決)	→承認
議第 37 号 (説明)	○富士市立高等学校教科用図書採択について ・富士市立高校事務長説明

(質問・意見等)	→研究員の方は市立高校の教科ごとの先生方か。
(回答)	→そうである。
(質問・意見等)	→この調査結果は校長が了解した上でこの会議に出てきているのか。
(回答)	→そうである。
(議決)	→承認
各課等の報告・予定事項	
(質問・意見等)	→学校のコロナの感染状況はどうか。
(回答)	→今、コロナの感染報告を実施していないため、正確な数値を把握していない。先週まで学級閉鎖をした学校がいくつかあったが、コロナだけではなく、インフルエンザの方が多かった。今週、学級閉鎖は行っていない。
(質問・意見等)	→インフルエンザ、夏風邪、コロナが重なり欠席者が多いと聞いている。この3年間で子どもたちの免疫も落ちていると聞くので、今後でも対応をお願いする。
(質問・意見等)	→熱中症関係の報告はあったか。
(回答)	→大きな報告は入っていない。
(質問・意見等)	→教育研修・特別支援教育センターの予定事項に21日から24日まで、小中学生英語会話講座としてイングリッシュアドベンチャーが開催されるとある。この講座の概要を教えてほしい。
(回答)	→日常、学校の中でできないようなシチュエーションを作り出してそこで子どもたちに英語に親しんでもらうという取組である。今回はファーストフード店と提携して、ALTがその店の服を着て店員になり、そこに子どもたちがALTの店員に対して英語を使って買い物をするという講座を行う。
(回答)	→例えば、ホテルの受付やファーストフード店での注文など、日常生活又は旅行等で英語会話をするシチュエーションを作り、朝から半日間、全く日本語を使わず、20人のALTと英会話を楽しむという企画である。
閉会	